

■令和5年6月26日号（第1840号）

- ・洋上風力 「系統確保スキーム」見直し＝国が調査、暫定的連系予約を要請
- ・PIANC 日本部会題50回総会開催＝エステバン会長が来日公演
- ・JOPCA 第31回通常総会を開催＝港湾分野の海外協力発展へ
- ・洋上風力 港湾のあり方を議論＝浮体式への港湾施設を検討
- ・北海道のみなとオアシス活性化協議会＝全国初、ピンバッジ販売
- ・国土交通省人事（6月15日）
- ・関東地整 港湾工事に低炭素型材料活用＝CN形成、今年度に試行工事へ
- ・青森港 本校地区堤埠頭予防保全＝高圧噴射、深層混合処理で改良
- ・常陸那珂港区 東防波堤で2函築造工事＝本港地区ではケーソン製作
- ・北海道開発局ら えりも町ブルーカーボン＝ドローン・AI活用で測定
- ・秋田市 再エネビジョン策定検討＝洋上風力など関連産業振興
- ・北海道 洋上風力推進連絡会議＝有望区域の市町村ら参加
- ・三重県 洋上風力の基地港湾整備＝調査をいであに委託
- ・石狩市 洋上風力の地域経済効果＝調査業務をプロボ選定
- ・横浜港新本牧 港湾BIM/CIM＝本格運用に向け課題整理
- ・名古屋技調 技術交流会発表テーマ募集＝港湾・海岸事業での新技術
- ・普天間代替施設 辺野古側埋立工事が終盤へ＝沖縄防衛局、K5護岸工事等を公告
- ・鹿児島港 鴨池橋梁上部工事続きへ＝2件に分け鋼橋の製作、架設
- ・堺2区防災拠点 機能拡充へ土地利用検討＝臨港道路沿道の約6ha
- ・細島港 水深9mROROバース＝2函のケーソン製作工事
- ・高知港海岸 浦戸湾地区タナスカ工区＝ドルフィン部の実施設計
- ・博多港 香椎パークポートCT＝栈橋式岸壁の維持補修工
- ・大分港海岸 津留地区海岸保全施設＝原川西2工区他基本設計
- ・八代港 外港地区国際物流T＝航路増深で深淺測量
- ・志布志港 新若浜地区バルクバース＝ケーソン2函製作工事
- ・広島港・福山興 コンテナ貨物支援事業＝インセンティブ活用企業募集
- ・りんかい日産 D2500PS型「八洲丸」＝大型バージアンローダー船
- ・Jパワー 浮遊軸型風車の実証へ＝アルバトラスら5社と共同、20KWを実海域で
- ・作業船協会 第75回定時総会を開催＝作業船の役割更に高まる
- ・CDM研 第46回通常総会・懇親会＝普及活動を積極展開
- ・JOGMEC CCS事業化へ調査開始＝7件計1300tを貯留
- ・SSEパシフィコ 四国初の洋上風力計画＝徳島県美波町で浮体式
- ・東亜建設工業 比の洪水対策工事受注＝現地企業とJVで120億円
- ・東洋建設 土木施工技術発表会＝最優秀賞は九州支店が受賞
- ・エバーグリーン 博多港IC岸壁に初入港＝韓国・台湾・香港航路

- ・ J O G M E C 風況・気象海象調査を委託＝日本気象協会、北海道 2 海域
- ・ 東洋建設人事（7 月 1 日）
- ・ あおみ建設人事（6 月 21 日、30 日）

■ 令和 5 年 6 月 19 日号（第 1839 号）

- ・ 空港技術 生産性向上・脱炭素・D X＝第 2 回懇話会、新たな課題への対応方針
- ・ リサイクル P 5 年度協議会総会開催＝産業副産物等の利用促進等
- ・ 東洋建設 商船三井と合弁会社設立＝洋上風力事業へ本格参入
- ・ 港湾談話室 5 年春の叙勲・褒章受章者＝お祝いの会開き祝福
- ・ 土木学会定時総会 田中茂義会長が就任＝土木の魅力を内外に発信
- ・ 国総研 次世代を担う若手技術者＝官民連携プロジェクト発足
- ・ 海洋政策 A U V 官民 P F 立上げ＝技術ロードマップ作成等
- ・ 川崎港 臨港道東扇島水江町線＝水江町側中央径間上部工追加
- ・ 東北地整 プレキャスト工法導入調査＝管内主要港湾対象に適用探る
- ・ 鹿島港 地盤改良、岸壁上部工事＝基地港最終仕上げへ準備
- ・ 川崎市 扇島地区の土地利用方針案＝水素・C N など新産業創出へ
- ・ 直江津港 延長 2800m 沖防波堤＝粘り強い化に向け断面検討
- ・ 御前崎港 西埠頭岸壁改良事業＝1、2 号岸壁実施設計
- ・ 中部空港 広域連携で S D G s 取組＝植樹セレモニーを実施
- ・ 工事入札結果（令和 5 年 4 月契約分）
- ・ 神戸港 大阪湾岸道路西伸部事業＝W T O で鉛直載荷試験実施
- ・ 大阪港 北港南航路部の浚渫工事へ＝排砂管敷設に向け海底掘削
- ・ 高松港玉藻地区 地港審で港計変更了承＝大型クルーズ寄港対応
- ・ 中国地整 将来の港湾空港建設業＝官民連携で意見交換会
- ・ 広島空港 R E S A 用地造成事業＝土工、舗装、排水工等
- ・ 堺泉北港 汐見沖地区水深 12m 岸壁＝上部工 P C 構造検討等
- ・ 和歌山下津港海岸 海南地区直轄整備水門＝管理システム整備設計
- ・ 高松港 朝日地区 7.5m 岸壁他＝技術検討・妥当性取りまとめ
- ・ 松山港 外港地区 13m 岸壁延伸＝隅角部最終の製作工事
- ・ 東予港 中央地区マイナス 7.5m 航路＝埋没対策工法検討業務
- ・ 近畿地整ら C O N P A S 試験運用＝神戸 P C 18、D I C T 同時
- ・ 東亜建設工業 バングラの車両基地造成工＝現地企業と J V で約 150 億円
- ・ W F 協会 第 33 回定時総会を開催＝交流活発化で役割高まる
- ・ J M U 風車浮体の洋上接合試験＝ドック内で実施、量産化に期待
- ・ 九州地整 「みなとオアシスさせば」＝インバウンド受入環境整備
- ・ 東洋建設 本部安全衛生推進大会＝危険の見える化、自主行動を

- ・中部空港 塩田氏が執行役員に＝6月28日付役員人事
- ・沿岸センター 英語版維持管理技術マニュアル＝今夏にウェブ説明会も予定
- ・CN議員連盟 アップル副社長が講演＝2030に全製品CNへ

■令和5年6月12日号（第1838号）

- ・洋上風力発電 導入促進へ港湾のあり方＝機能拡充や浮体式への対応
- ・港荷協 第68回定時総会を開催＝CN審査認証機関目指す
- ・港湾局 臨海部の強靱化のあり方＝答申案を審議、今月にもパブコメ
- ・環境省 洋上風力の新アセス制度＝第2回有識者検討会、手続きの流れ示す
- ・MEMPHIS会 長崎で第24回講演会（7月26日開催）＝海洋・港湾での維持管理
- ・国交省 Jコンストラクション大賞＝海外建設プロジェクト5件等
- ・金沢港 将来ビジョンの検討開始＝船舶大型化、CNP等に対応
- ・横浜市 山下ふ頭再開発の事業計画＝8法人からの提案公表
- ・石狩湾新港 東地区国際物流ターミナル＝鋼管矢板式岸壁整備を促進
- ・敦賀港 鞠山南地区マイナス9m岸壁＝施工方策検討業務を手続き
- ・青森港 沖館地区マイナス13m岸壁＝クルーズ船対応、洗掘防止対策工
- ・酒田港 コンテナ貨物利用促進＝バルクからの転換など助成
- ・東京都港湾局 大井ふ頭RTGに水素FC＝日本郵船ら4社と協定
- ・田子の浦港 港口部ポケット整備＝マイナス12m航路保全対策
- ・名古屋港管理組合 5年度優良工事施工者＝小島組ら3者を表彰
- ・細島港 水深9m複合一貫輸送T＝RORO岸壁着工式典開催
- ・神戸港 航路附帯施設被覆・根固工＝環境活性ブロックで生物共生
- ・高松港 朝日地区7.5m岸壁＝本体鋼管杭の初弾工事
- ・大分港海岸 津留地区護岸改良工事＝東2工区陸開の詳細設計
- ・油谷港 唐崎地区防波堤（北）＝捨石傾斜堤築造工事
- ・小松島港・空事務所 「みずき」で航路啓開訓練＝吉野川河口域で流木回収
- ・別府港 石垣地区700m防波堤＝粘り強い化の初弾工事
- ・指宿港海岸 湯の浜地区保全施設整備＝「離岸堤（南）」が進捗
- ・徳山下松港 大水深公共岸壁を課外授業＝CIM施工やVRを模擬体験
- ・海洋調査協会 5年度定時社員総会開催＝新調査研究でステイタス向上
- ・GPS機構総会 GNS化への取組を推進＝ICT施工の拡充に大きく貢献
- ・CNAC 令和5年度総会開催＝久々生海岸の取組講演
- ・東洋建設 関東・関東建築安全大会＝労働災害ゼロへ決意
- ・NPOみなとサポート＝通常規模で第20回総会
- ・横浜市 パワーエックスと連携＝電気運搬船でCNP
- ・SSEパシフィコ 村上市・胎内市沖洋上風力＝計画段階環境配慮書縦覧

- ・東洋建設人事（6月27日）
- ・あみ建設人事（6月21日）

■令和5年6月5日号（第1837号）

- ・港湾協会 第96回定時総会を開催＝港湾分野の更なる進展へ
- ・日本港湾協会賞など表彰＝技術賞・鮫島賞・企画賞
- ・港湾海岸防災 いわき市で協議会開催＝防災・減災対策予算の確保
- ・港湾局 AI活動で荷練り効率化＝システム導入ガイドライン
- ・港湾局 外来トレーラ自働走行＝実証結果を取りまとめ
- ・港湾局 みなとの仕事紹介冊子＝担い手不足、労働環境改善
- ・港湾局 クルーズ受入高度化など＝3事業の公募開始
- ・港空研 松本さゆり副センター長＝文科省審議会委員に任命
- ・名古屋港 飛島ふ頭東第2B着手＝土砂処分場は築造工促進
- ・函館港 弁天地区の水深5m岸壁＝今年度に地盤改良を完了
- ・久慈港 湾口防波堤延伸工事实施＝湾内環境保全方策業務等も
- ・石川県 小松空港の滑走路増設＝基礎調査で配置を検討
- ・千葉港海岸 船橋地区直轄海岸保全＝護岸胸壁の細部設計ほか
- ・三河港 神野ふ頭4号岸壁改良＝予防保全で鋼矢板補強等
- ・西脇聖籠町が意見表明＝基地港湾指定、CNP取組
- ・東京湾口航路事務所 測量船「うらなみ」代替＝今年度に技術検討業務
- ・志布志港 産直港湾で輸出拡大へ＝農林水産物・食品輸出促進、県に認定書授与
- ・志布志港 新若浜地区バルクバース＝裏込工事の仮設道路
- ・細島港 外港地区南防波堤＝ケーソン1函分まで概成
- ・細島港 水深9mROROバース＝ケーソン2函製作
- ・名瀬港 立神地区沖防波堤＝港外東側粘り強い化進捗
- ・下関港 新港地区護岸階段工工事＝埋立済区域上部工仕上げ
- ・苅田港 新松山地区水深12m岸壁＝ケーソン3函据付工事
- ・水島港 塩生公共ふ頭延伸整備＝現地入りに向け施工検討
- ・伊万里港 久原南・瀬戸道路改良＝橋梁補修・舗装工を継続
- ・中城湾港 水深11、13m泊地浚渫＝5年度2件で34万m<sup>3</sup>
- ・あおみ建設 耐マルチパス水中測位＝海洋音響学会「業績賞」受賞
- ・潜水協会 新会長に高橋宏氏が就任＝総会、創立50周年祝賀会開催
- ・マリーナ・ビーチ協 第52回通常総会を開催＝八鍬氏が理事長に就任
- ・長崎港 元船地区整備の検討開始＝国内ターミナル機能強化など
- ・東亜建設工業 2023年3月期決算＝受注高は22年ぶり高水準
- ・北開局 優秀論文を表彰＝4年度技術研究発表会

- ・青森県中泊町・日本風力開発＝漁港区域内に洋上風力
- ・J W P A 2050年に風力140GW＝Wind Vision 2023
- ・日本海事協会 洋上風力作業船にA i P＝東京汽船、古川電工ら
- ・日本海事協会 洋上WFのMWS＝ガイドラインを公開

■令和5年5月29日号（第1836号）

- ・自民党港湾議連 財務省に緊急要望活動＝サプライチェーンの強靱化等
- ・埋浚協会 5年度定時総会を開催＝洋上風力に技術を活かす
- ・港湾局 5年度直轄事業の取組⑤＝港湾工事でのCNへの取組
- ・港湾局 命のみなとネットワーク＝全国20市町と意見交換
- ・港湾局 サイバーポート（港湾管理分野）＝4港の実証結果を公表
- ・沿岸センター 栗山氏が防災研究所長＝理事会で承認
- ・【訃報】輪湖建夫さん逝去
- ・新千歳空港 地下構造物の耐震化等促進＝降雪対策、デアイシングエプロン新設
- ・常陸那珂港区 中央ふ頭国際物流ターミナル＝今年度埋立願書、ケーソン製作
- ・千葉港 中央地区複合一貫輸送ターミナル＝RORO船対応の耐震岸壁
- ・第100回東京都港湾審議会 第9次改訂計画中間報告＝新海面Z0・Z2バース新設等
- ・横浜港 新本牧地区東側護岸工事＝本年度中仕切堤にも着手
- ・熊本港 耐震強化岸壁と「海輝」＝着工式典、お披露目式開催
- ・四日市港 霞ヶ浦北ふ頭地区W81＝鋼管杭35本の打設手続き
- ・北九州港 新門司沖土砂処分場Ⅱ期＝WTOで護岸築造3件
- ・八代港 大築島土砂処分場整備＝WTOでSCP改良2件
- ・徳島小松島港 金磯地区水深11m岸壁＝供用に向けて泊地浚渫
- ・日高港 国際物流T整備事業＝泊地水深12m浚渫工事
- ・佐世保港 前畑地区水深10m岸壁＝事業完了に向け最終工事
- ・呉港 吉浦地区水深7m栈橋＝延伸工事で鋼管杭打設等
- ・松山空港 RESA磁気探査手続＝本年度末現地着工へ
- ・堺泉北港 汐見沖水深12m岸壁＝WTOで鋼杭工32本等
- ・埋浚協会記者会見 拡大する港湾工事への対応＝魅力ある作業船導入で若者呼込
- ・港湾局 新しい国際コンテナ戦略港湾＝第4回検討委員会議事概要
- ・RSO 第24期通常総会を開催＝Rアワードに秋田県建設部
- ・経産省 水素・アンモニア合同会議＝基本戦略策定に向け議論
- ・東京港 港湾功労者表彰式を開催＝開港82周年、16名に感謝状
- ・東洋建設社長に大林氏＝役員予定人事を内定へ
- ・中部空港 2023年3月期決算＝増設滑走路着手へ手続き
- ・JAMSTEC 南太平洋の海底観測＝仏研究所と共同調査

- ・ J O G M E C 北海道洋上風力地盤調査＝応用地質と契約
- ・ N E D O 浮体式洋上風力調査＝6月5日まで公募

■令和5年5月22日号（第1835号）

- ・ 日港連 第40回通常総会を開催＝港湾インフラの重要性確認
- ・ 港湾局 5年度直轄事業の取組④＝ナローマルチビームクラウドの全国展開
- ・ 洋上風力 北海道5区域が有望区域＝系統確保スキームの適用前提
- ・ 熊本港 耐震強化岸壁の新規事業化＝新「海輝」お披露目式開催
- ・ 土木学会賞 功績賞に港湾関係3名＝技術賞Ⅱ、新潟港海岸事業等
- ・ 特定離島港湾 南鳥島、沖ノ鳥島の整備＝海洋資源の効率的調査へ
- ・ 釧路港 土砂処分場ケーソン据付＝島防波堤では背後盛土工等
- ・ 伏木富山港 新湊地区中央ふ頭再編＝事業概成へ泊地浚渫工事
- ・ 工事入札結果（令和5年3月契約分）
- ・ 広島港 出島地区国際CT第2バース＝今年度に築造工事発注し促進
- ・ 清水港 新興津の第3バース整備＝今年度ケーソン製作等開始
- ・ 浜田港 福井地区水深12m岸壁＝CTクレーン基礎延伸改良
- ・ 尾道糸崎港 百島海老呑潜堤整備＝干潟整備SCP396本
- ・ 海ネット 瀬戸内海首長サミット＝国際クルーズ、万博開催議題
- ・ 指宿港海岸 突堤の配置・構造検討＝侵食や景観に配慮
- ・ 名瀬港 本港地区7.5m岸壁＝上部ブロック工の手続き
- ・ 嫦娥ノ瀬戸航路 航路法面保護改良工事＝改良最終有漢の手続き
- ・ 境港 外港昭和南水深13m岸壁＝予防保全が最終段階に
- ・ 境港 外港地区西防波堤＝二重円筒ケーソン改良
- ・ 海技協総会 作業船の維持・確保の取組＝働き方改革やCO2削減対応
- ・ 日港連記者会見 林田会長が重点取組等説明＝適正利潤の確保、作業船等
- ・ 海事局 シップ・リサイクル技術＝バングラデシュの解撤協力
- ・ 環境省 洋上風力の環境アセス＝セントラル方式など、最適な在り方を検討
- ・ 港空研・JBE Jブルークレジットセミナー＝「三方よし」の取組拡大
- ・ 日鉄エンジ 2022年度決算概要＝石狩・響灘洋上風力等
- ・ 洋上風力 青森日本海（南側）協議会＝将来像の叩き台示す
- ・ コスモエコパワー 檜山沖洋上風力＝計画段階環境配慮書

■令和5年5月15日号（第1834号）

- ・ 国交省 GX経済移行債活用方策＝港湾では作業船関連支援等
- ・ 港湾局 5年度直轄事業の取組③＝BIM/CIMの原則適用へ
- ・ 航空局 産学官で空港技術を議論＝今年中に基本計画策定へ

- ・港湾局 新潟港を基地港湾に指定＝5年度～8年度、91億円
- ・近畿地整 石川県能登地方の地震＝臨海防災センターが緊急支援
- ・港空研 濱口梧陵国際賞の募集開始＝沿岸防災技術の啓発・普及
- ・川崎港 臨港道路東扇島～水江町線＝今年度水江町アプローチ部着手
- ・室蘭港 祝津絵鞆岸壁の改良事業＝崎守では洋上風力関連調査
- ・北開局・北電 港湾活用でゼロカーボン＝連携・協力協定を締結
- ・仙台塩釜港 埠頭保安合同点検＝G7控え、関係機関連携
- ・横須賀港 浦郷地区石積護岸＝国有財産復旧で構造検討
- ・両津港 フェリー岸壁改良工事＝栈橋部の細部設計手続き
- ・金沢港 新土砂処分場の配置検討＝将来の土地利用も見据え
- ・石垣港 外航クルーズ、年内70隻予定＝港内静穏化へ防波堤延伸等
- ・平良港 RORO第2バース進捗＝防波堤（西）のケーソン促進
- ・石垣港 臨港道路橋梁を改良＝吊材更新や劣化部修復等
- ・北九州港 響灘東の洋上風力基地整備＝地盤改良工事2件手続き
- ・堺泉北港 エアシェルター内覧会＝青果センター、農産物の輸出拡大
- ・高松空港 RESA用地造成工事＝盛土材供給調査等も推進
- ・長崎港 航路水深12m浚渫工事＝大型クルーズ船受入対応
- ・衣浦港 外港地区西防波堤改良＝上部工嵩上工事を促進
- ・下関港海岸 長府・壇ノ浦5工区＝最終工区の実施設計へ
- ・下関港海岸 山陽地区護岸実施設計＝新川水門隣接工区対象
- ・大林組・東亜建設 SEP船「柏鶴」完成披露＝1250t吊、洋上風力積極参入へ
- ・「MSCベリッシマ」横浜港に初入港＝クルーズ船5隻同時着岸
- ・全浚 第52回通常総会を開催＝創立50周年記念祝賀会も
- ・MEMPHIS会 創設10周年記念行事＝若手技術者の台頭に期待
- ・港空研ら 富山湾の極端振幅波浪＝生成メカニズムを解明
- ・国交省航空局 北九空港滑走路延長事業＝評価書への大臣意見送付
- ・阪神港 CONPAS試験結果＝今年度中に本格導入へ
- ・沿岸C・海洋調査協会 洋上風力発電の海底地盤＝調査及び評価の手引き発刊
- ・臨海副都心 水素混焼で地域熱供給＝都、産総研、清水建設ら
- ・秋田県 洋上風力企業を初認定＝ベストスジャパンら

■令和5年5月1日・8日合併号（第1833号）

- ・臨海部の強靱化 関係者と協働の枠組み構築＝CN物流施設の安全対策も
- ・港湾局 5年度直轄事業の取組②＝品質確保調整会議の適切運用
- ・港湾局 国際コンテナ戦略港湾政策＝デジタル化、脱炭素化の動向
- ・国交省 インフラDXアクションP＝骨子公表、今夏改訂へ

- ・港湾局 みなとオアシス海のまち須崎＝全国158箇所目登録
- ・インフラメンテナンス大賞 内閣総理大臣賞・環境大臣賞創設＝6月30日まで募集中
- ・港湾局 港湾運送事業法一部改正＝許可基準を弾力化など
- ・敦賀港 鞠山南地区複合一貫輸送T＝岸壁や護岸部の設計等作業
- ・東京国際空港 京急駅舎部躯体工にECI＝近接部影響を抑えた高度施工
- ・苫小牧港東港 周文ふ頭フェリーターミナル＝SCP地盤改良工事を促進
- ・根室港 花咲地区で屋根付岸壁＝落石漁港では無人化施工
- ・鹿児島港空事務所 鹿島港、茨城港常陸那珂＝今年度に防波堤延伸工事
- ・新潟空港 RESA用地造成工事＝概成に向け最終工程へ
- ・東京みなと祭り（5月20日・21日） 東京国際クルーズT＝4年ぶりリアル開催
- ・那覇港 新港のRORO機能強化＝ケーソン製作工から開始
- ・室津港 今年度に防波堤Ⅱ築造＝WTOでケーソン2函
- ・細島港 水深9mROROPارس＝地盤改良工事など現地着工
- ・長崎港 松が枝地区国際物流T＝PFIスキーム案公表
- ・広島空港 RESA用地造成工事＝場周道路や滑走路帯など
- ・八代港 大築島土砂処分場＝WTOでSCP工事
- ・宮崎空港 RESA用地造成＝概成に向けた最終工事
- ・舞鶴港 国際物流ターミナル事業＝SCP地盤改良が進捗
- ・下関港海岸 才川水門、印内水門＝水門設計業務2件手続き
- ・東亜建設工業 水中ドローンで岸壁劣化点検＝3Dモデルにより高精度調査
- ・東亜建設工業 バングラデシュの工場建設＝家電生産施設の工事受注
- ・内閣府 AUV戦略を中間まとめ＝産学官で早期社会実現目指す
- ・内閣府総合海洋政策本部 AUV官民PF立上げ＝参加企業・団体を募集
- ・関東地整 埋浚協会、若築建設らに感謝状＝昨年台風15号の被災地に物資輸送
- ・阪神国際港湾 都内で集貨事業説明会＝新メニュー・拡充で支援強化
- ・阪神国際港湾 神戸港利用でCO2削減＝トライアル支援事業公募
- ・兵庫県ら 播磨臨海地域CNP＝国交省、経産省に要望書
- ・みなとみらい21 60・61街区2.3ha＝事業者を公募
- ・風車ウェイクに関する研究＝NEDO、近く公募開始

■令和5年4月24号（第1832号）

- ・国交省港湾局 5年度直轄事業実施内容＝生産性向上等の施策を拡充
- ・港湾局 直轄事業の5年度重点施策＝①荒天リスク精算型試行工事
- ・港湾局 港湾技術パイロット事業＝2事業とも活用可能と評価
- ・港湾局 サイバーポート（港湾インフラ分野）＝1次運用開始、10港から
- ・政府 夢洲IR計画を認定＝日本初カジノ併設施設

- ・ G 7 札幌環境大臣会議＝2030 年までに洋上風力 150GW 等
- ・ 港則法施行令一部改正＝響灘洋上風力着工に対応
- ・ 港湾技術コンサルタント協会が事務所移転
- ・ 新潟港 洋上風力基地港湾の整備＝施工方策検討等手続き開始
- ・ 東京国際空港 5 年度は 344 億円で事業＝鉄軌道の基盤整備等に着工へ
- ・ 鹿島港 W T O で航路・泊地浚渫＝今年度に防波堤の延伸工事
- ・ 石巻港区 雲雀野地区水深 12m 岸壁＝今年度に S C P 改良予定
- ・ 仙台塩釜港 水深 13m の航路・泊地＝埋没対策で浚渫工事実施
- ・ 両津港 フェリー埠頭 4 号岸壁＝ケーソン 7 函製作工事
- ・ 敦賀港 鞠山北地区護岸（防波）＝ケーソン改良工事手続き
- ・ 東京港 中防外 Y 3 の地盤改良工＝5 月以降、3 件公告予定
- ・ 北九州空港 滑走路延長に今年度着工＝3000m 化への取組開始
- ・ 熊本港 夢咲島地区 7.5m 岸壁＝基本設計手続き開始
- ・ 姫路港 広畑地区国際物流 T 事業＝第 2 バース築造工事 2 件
- ・ 指宿港海岸 湯の浜地区護岸改良工事＝護岸（改良）区間を延伸
- ・ 八代港 中長期ビジョンを公表＝臨港道路、ふ頭再編等
- ・ 鹿児島港 中長期ビジョンまとめ＝谷山一、二区耐震強化
- ・ 苅田港 新松山水深 12m 岸壁＝ケーソン製作など 4 件
- ・ 堺泉北港 汐見地区水深 12m 岸壁整備＝W T O で鋼杭工 36 本
- ・ 志布志港 新若浜地区バルクバース＝ケーソン 3 函据付工事
- ・ 下関港 新港地区国際物流 T＝護岸（防波）、泊地浚渫など
- ・ 水島港 航路水深 12m 付帯施設＝浚渫土仮置き場修正設計
- ・ 東亜建設ら 基地港で S E P 船を改造＝海事協会から A i P 取得
- ・ 五洋建設ら P C - U n i t 栈橋工法＝港湾工事の生産性向上
- ・ 関東地整 令和 5 年度事業概要公表＝横浜港国際海上 C T 等
- ・ 丸紅・大成 石狩地域バイオマス発電＝地産地消型再エネ供給
- ・ 博多港 バングラ港湾庁が視察＝マタバリ港整備の参考に
- ・ 名港管組 アイコンストラクション＝遠隔臨場、I C T など試行
- ・ 海事局 造船業の D X を支援＝生産性向上、4 件採択
- ・ 日本無線 洋上風力 C T V 用移乗装置＝「アクセスギャングウェイ」
- ・ 工事入札結果（5 年 2 月分）

■ 令和 5 年 4 月 17 号（第 1831 号）

- ・ 国交省港湾局 次世代高規格ユニットロード T＝情報技術のアイデア募集
- ・ J R 東日本 羽田空港アクセス線の整備＝工事施工認可を得て本格着工
- ・ 港湾局・海事局 クルーズで地域活性化＝酒田港など 11 事業を決定

- ・港湾局 クルーズ旅客受入高度化＝3事業の実施を決定
- ・港湾局・海事局 訪日観光魅力向上事業＝4事業の実施を決定
- ・港湾局 インド太平洋の主要港＝開発動向や案件形成調査
- ・港湾局 海外港湾ターミナル運営＝課題解決及び支援戦略策
- ・国総研が組織変更（4月1日）＝港湾情報化支援センター設置等
- ・国総研人事（4月1日）
- ・新潟港 東港の洋上風力発電基地＝洋上風力促進小委で了承
- ・小名浜港 第二沖防波堤の延伸事業＝先行基礎捨石工等を予定
- ・茨城県 茨城港と鹿島港のCNP＝水素換算での将来構想示す
- ・秋田港 仮置き土砂30万m<sup>3</sup>運搬＝向浜の埠頭用地造成に活用
- ・南鳥島 解体撤去計画作成業務＝旧海保庁舎島内建築物
- ・地方整備局人事（4月1日）
- ・名古屋港 中空沖新土砂処分場整備＝西1工区、6年度に護岸が水切り
- ・名古屋港 中空沖新土砂処分場＝護岸設計用土質調査
- ・三河港 田原地区に水深10m岸壁＝県が新規に増深・耐震改良
- ・御前崎港 西ふ頭岸壁老朽化対策＝既設構造物撤去工事
- ・高知港海岸 湾口地区の護岸改良＝種崎千松公園で初弾工事
- ・高知港海岸 浦戸湾地区タナスカ＝護岸改良実施設計
- ・松山港 水深13m岸壁の延伸＝ケーソン据付等
- ・東亜建設工業 砂撒作業を一人で遠隔操作＝模擬操作試験で実用性確認
- ・横浜港 シェアリングエコノミー＝関東地整が実証結果まとめ
- ・若築建設 コンクリ締固をAI管理＝リアルタイムに品質確認
- ・NEDO 洋上風況観測ガイドブック＝低コスト・高精度手法
- ・エネ庁 水素基本戦略案まとめ＝2040年に1200万t目標
- ・三菱商事洋上風力 いすみ市沖洋上風力＝計画段階環境配慮書を縦覧
- ・住友商事 仏の洋上風力建設開始へ＝総事業費3500億円、25年完工
- ・海事局 洋上風力向けCTV＝安全設計ガイドライン策定
- ・港湾局 公募占用計画の審査・評価＝4地域の再エネ事業が対象
- ・GWEC ウィンドレポート2023＝累計・新規共中国が1位

■令和5年4月10号（第1830号）

- ・国交省港湾局 CNP認証制度案まとめ＝コンテナT対象に5年度試行
- ・港湾局 作業船のあり方報告まとめ＝保有水準、担い手の確保
- ・港湾局 港湾の基本方針を変更＝法改正に伴い、脱炭素化等追加
- ・港湾局 港湾計画策定業務を改善＝検討会で基本方向示す
- ・港湾局 港湾施設の点検技術＝新たに7技術を追加

- ・港湾局 港湾脱炭素化推進計画＝作成マニュアルを公表
- ・沿岸センター 「設計士・設計士補」試験＝5/12 まで申込受付中
- ・港湾局事務官人事（4月1日）
- ・関東地整 令和5年度事業概要を公表＝横浜港国際海上CT再編整備等
- ・北陸地整 令和5年度事業概要＝新規に新潟港東港区南ふ頭T
- ・北陸地整 CNP広域連携・新技術WT＝日本海側港湾の連携、情報共有
- ・東京港 4年度CONPAS結果＝参加店社増加、待機時間短縮
- ・東京都港湾局 令和4年東京港港勢＝速報値を公表
- ・北開局 令和5年度事業概要＝浜厚真複合一貫輸送T事業
- ・直江津港 エネルギー港湾沖防波堤＝踏査、ドローンで変状把握
- ・下関港海岸 山陽地区護岸改良工事＝WTOで水門等の整備促進
- ・大阪港 大正内港地区岸壁改良＝概成に向け最終工区
- ・九州地整 唐津港の中長期ビジョン策定＝船舶大型化への対応、耐震化
- ・徳島小松島港 金磯地区水深11m岸壁＝事業終了に向け進捗
- ・川内港 唐浜地区国際物流T整備＝現地工事本格化、本体工他
- ・指宿港海岸 湯の浜地区突堤（大山崎）＝概成整備区間を延伸
- ・清水港湾事務所と東海大学＝連携・協力に関する協定締結
- ・中国地整 入札・契約制度一部見直し＝4月10日にWeb説明会開催
- ・広島港海岸 中央東地区護岸改良＝矢野、江波護岸築造工事
- ・長崎空港 RESA用地造成第2次＝WTOで中仕切護岸工他
- ・苫小牧港 CNP形成計画を策定＝水素・アンモニアの拠点化等
- ・室蘭港 CNP形成計画をまとめ＝30年度までに343万t削減
- ・各社トップの入社式訓示（五洋建設、東亜建設工業、東洋建設、若築建設）
- ・東亜建設工業 THJ耐震補強工法＝建築技術性能証明を取得
- ・国交省 浮体式洋上風力発電ガイドライン＝コンクリート製を追加
- ・遊佐町沖 協議会が取りまとめ＝促進区域指定手続きへ
- ・東電RP スコットランド沖浮体式＝洋上風力海底リース権落札
- ・YKIP 集貨、航路誘致支援事業＝2023年度の募集開始
- ・阪神国際港湾 令和5年度集貨事業＝支援拡充、募集開始
- ・日建連 安全委員会海洋安全部会＝啓発標語（23年度）募集
- ・あおみ建設人事（4月1日）

■令和5年4月3号（第1829号）

- ・国交省港湾局 命を育むみなとの取組加速＝ブルーインフラ方策を拡大
- ・港湾局 みなとの地域振興促進＝命を振るうプロジェクト始動
- ・東京航空局 羽田空港橋梁メンテナンス＝技術検討委が藤田局長に報告書

- ・国交省 「日本のインフラの今」＝ホームページで発信
- ・東京航空局 羽田空港橋梁のインフラマネジメント＝技術検討委が最終報告まとめ
- ・東北地整 次世代高規格ROROバース＝24年規制で海上輸送強化検討
- ・東京都 東京港海岸保全施設を強化＝気候変動に対応、計画策定
- ・千葉・木更津 脱炭素化推進協議会＝初会合開催、年度末計画策定へ
- ・横浜港 新本牧地区水深18m岸壁＝WTOで鋼板セル製作築造
- ・横浜港 新本牧地区東側護岸＝基礎マウンド整備延伸
- ・千葉港中央地区複合一貫輸送T＝防波堤140mの細部設計
- ・大阪港 主航路の増深・拡幅へ準備＝排砂管敷設部の浚渫工事等
- ・御前崎港 CNP形成に向け準備会＝計画策定への取組みへ
- ・中国地整 中田港で命のみなとNW訓練＝地元小学生の船内見学会等
- ・姫路港 広畑地区臨港道路＝広畑～網干沖間で土質調査
- ・下田港 防波堤西築造工事＝E工区ケーソン据付工事
- ・別府港 石垣地区沖防波堤整備＝ケーソン2函据付工事ほか
- ・志布志港 新若浜地区バルクバース＝ケーソン曳航土砂撤去工事
- ・佐伯港 女島地区水深10m岸壁＝WTOで地盤改良工事
- ・油谷港 唐崎地区防波堤（北）＝捨石傾斜堤築造工事
- ・九州地整 ICT潜水のあり方議論進む＝5年度、モデル工事に向け検討
- ・運輸総研 CNに向けた燃料転換戦略＝交通部門横断的取組でシンポ
- ・中部圏 水素・アンモニアSCビジョン＝世界に先駆け社会実装目指す
- ・港空研 波崎海洋研究施設をオンライン公開＝観測栈橋の海底地形調査など
- ・東京湾再生連携フォーラム＝ブルーインフラ取組等説明
- ・JBE Jブルークレジット公募＝5件を21日から開始予定
- ・関東地整 5年度重点的安全対策＝点検・清掃時の安全確保等
- ・関東地整 低炭素材料の活用マニュアル＝5年度港湾工事等試行
- ・沖縄開建 5年度総合評価方式＝説明資料をHPに掲載
- ・JERA ベルギー洋上風力会社買収＝2200億円、年内取得へ
- ・商船三井 久米島で海洋温度差発電＝世界初の商用化目指す

■令和5年3月27号（第1828号）

- ・国交省港湾局 作業船のあり方（案）示す＝保有水準方策と担い手確保
- ・国土交通省 「インフラDX大賞」授与式＝斉藤大臣が25団体を表彰
- ・航空局 空港除雪の省力化・自動化＝新潟空港で運転支援システム導入
- ・航空局 日本初、国内ブレンドSAF＝中部空港で受入、実証事業
- ・国交省 カリフォルニア州と覚書＝港湾脱炭素化、グリーン海運回廊
- ・国交省港湾局 LNGバンカリング拠点＝形成事業補助の公募開始

- ・東北の国際物流 2024年問題への対応＝農林水産物・食品輸出等
- ・鹿島港 洋上風力発電基地港整備＝WTOで航路・泊地浚渫工事
- ・常陸那珂港区 大型RORO船2隻着岸に＝中央ふ頭D岸壁、延長300mで供用
- ・苫小牧港 西港区で軽易変更計画＝漁船保管施設、岸壁耐震化
- ・羽田空港 浅場造成に向け築堤工＝京浜河川の多摩川浚渫土
- ・関東地方整備局 水際・防災対策連絡会議＝G7広島サミット保安対策等
- ・千葉港海岸 直轄海岸保全施設整備＝船橋地区土質調査手続き
- ・横浜港 令和4年港勢速報値＝コロナ禍前まで回復
- ・苫小牧港 令和4年港勢速報＝国際コンテナ過去最高
- ・九州地整 林産品輸出モデル港選定＝志布志港、八代港など5港
- ・大分港 大在西地区岸壁築造手続＝第1バースの早期供用目指す
- ・四国地整 地震津波防災を考える講演会 in こうち＝「三重防護」整備への理解促進
- ・名港管組 名古屋港CNP形成計画＝金城ふ頭に陸電供給施設
- ・清水港 CNP形成計画案まとめ＝「スマートガーデンポート」
- ・福岡市 博多港CNP形成計画原案＝2040年CN達成目指す
- ・津松阪港 直轄海岸事業栗真工区＝整備完了に向け堤防改良
- ・広島港海岸 中央西地区江波護岸＝陸間、胸壁等詳細設計
- ・内閣府 第4期海洋基本計画案＝OX（オーシャン・トランスフォーメーション）を推進
- ・博多港アイランドシティ DコンテナT背後ヤード＝3月から供用開始
- ・九州地整 水際・防災対策連絡会議＝G7広島サミットの保安徹底
- ・GPI・JAXA 宇宙から海上風速観測＝洋上風力発電分野に利用
- ・国交省総合政策局 海の次世代モビリティ＝セミナー開催
- ・大阪港湾局 パナマ海事庁と覚書＝提携で国際競争力強化へ
- ・スマートエネルギーWeek春＝日・欧の多数企業が出展
- ・五洋建設人事（4月1日）
- ・みらい建設工業人事・機構改革（4月1日）

■令和5年3月20日号（第1827号）

- ・港湾分科会 那覇港の港湾計画改訂＝原案通り了承、RORO強化、クルーズ拡充
- ・国交省港湾局 PCa工法の導入促進＝長所を加算し、選択容易に
- ・港湾局 5年度新規事業評価部会＝新潟港、敦賀港、那覇港
- ・航空分科会 北九州3000m化は妥当＝中部空港は案2の増設案に
- ・港湾局 港湾利用への気候変動対策＝施設の建設、改良・維持、6年度に技術基準改訂
- ・内閣官房 国土強靱化基本計画＝懇談会が骨子案示す
- ・港湾局 サイバーポート新機能＝NACCS連携リリース
- ・新潟港 洋上風力基地港で新規採択＝岸壁等整備事業費91億円

- ・青森港 新年度に長期構想検討開始＝6年度にも次期港計改訂へ
- ・敦賀港 鞠山南ふ頭再編事業新規＝水深9mの耐震RORO岸壁
- ・新潟県離島振興計画 改定案まとめ＝佐渡島、粟島の脱炭素化等
- ・八戸港 航路泊地（埋没）付帯施設＝Ⅱ期概成に向けWTO工事
- ・千葉港海岸 船橋地区直轄海岸保全事業＝日の出護岸細部設計等
- ・工事入札結果（令和5年1月契約分）
- ・那覇港 新港ふ頭RORO機能強化＝延長280m耐震強化岸壁
- ・近畿地整 国際物流戦略T本部会合＝万博、ワールドチェーン動向等
- ・八代港中長期ビジョン 第3回検討会＝今月末に最終報告まとめ
- ・九州地整 馬毛島自衛隊基地整備＝修正設計、施工課題対応業務
- ・近畿地整港湾空港部 新たな総合評価実施方針＝生産性・安全性向上を評価
- ・高松港 朝日地区水深7.5m岸壁＝船尾部概成に向け進捗
- ・長崎空港 RESA用地造成整備＝進入灯橋梁他手順検討
- ・和歌山下津港海岸 直轄海岸保全施設整備＝海南地区鳥居水門に着工
- ・和歌山下津港海岸 海南地区船尾南＝第2-2工区詳細設計
- ・海の再生全国会議 ブルーカーボンテーマに議論＝東京湾の未来に向け座談会
- ・横浜技調 小学生とアマモ生育試験＝「潮彩の渚」に苗を移植
- ・RSOフォーラム 新井研究総監が最終講義＝日大ホールで未来への提言
- ・国土審 新たな国土形成計画＝素案まとめ、夏頃閣議決定へ
- ・北海道局 新たな北海道総合開発＝国土審分科会、中間整理審議
- ・NEDO 液化水素SC商用化実証＝豪州から出荷、川崎臨海部で受入
- ・東洋建設 千葉港で現場パトロール＝千葉中央地区岸壁工事
- ・入善洋上風力発電に出資 JFEエンジと北陸電力＝ウェンティージャパン事業会社
- ・ウェザーニューズ 「ANEMO I」提供開始＝洋上風力発電市場向け

■令和5年3月13日号（第1826号）

- ・国交省港湾局 港湾ターミナルの脱炭素化＝今月中に認証制度案策定へ
- ・港湾局 第6回港湾i-con推進委＝来年度工事、BIM/CIMを原則適用
- ・港湾局 新たな国際コンテナ戦略港＝京浜港、阪神港等からヒアリング
- ・港湾局 技術開発課題を公募＝生産性向上、労働環境改善
- ・港湾局 遠隔操作RTGの導入＝補助事業の公募開始
- ・国交省 海外インフラP技術者認定＝港湾・空港関係6名表彰
- ・千葉港 船橋地区海岸保全施設整備＝国交省・千葉県、着工式典を開催
- ・北陸地域 国際物流戦略T幹事会＝BCP・農産物輸出など議論
- ・酒田港湾事務所 ブルーインフラ実証実験＝再生可能エネルギー集積など
- ・室蘭市 室蘭港CNP形成計画＝洋上風力産業拠点の形成等

- ・横浜港 新本牧地区東側護岸＝床掘、基礎工事 2 件
- ・伏木富山港 富山地区 2 号岸壁改良＝ケーソン据付ほか築造工事
- ・茨城港、鹿島港 C N P＝WG 開催、月内計画策定
- ・伏木富山港湾事務所ら 魚津市命のみなと NW＝北陸初、協議会を立ち上げ
- ・塩釜港・空事務所と石巻市 海上輸送支援協定締結＝命のみなと NW 形成
- ・福岡空港 C P G 地盤改良の手続き＝新設滑走路も仕上げ工へ
- ・荻田港 荻田港が果たした役割＝経済波及効果など成果公表
- ・中国地整、埋浚 官民若手技術者交流会開催＝魅力ある職場環境へ意見交換
- ・尾道糸崎港 百島海老呑地区潜堤整備＝ S C P による海上地盤改良
- ・呉港 吉浦地区水深 7 m 栈橋＝延伸工事で鋼管杭打設ほか
- ・水島港 航路水深 12m 付帯施設＝仮設処分場概成に向け進捗
- ・徳山下松港 「みなと現場見学会」＝「海翔」、ケーソン見学
- ・大分港海岸 住吉、津留の陸閘・胸壁＝修正設計ほか施工検討
- ・大分港海岸 乙津、鶴崎地区護岸改良＝コスト縮減に向け検証等
- ・長崎港 航路水深 12m 浚渫工事＝クラブ浚渫工 3 件見通し
- ・和歌山下津港 海南地区船尾南護岸＝第 1－3 工区他基本設計
- ・相馬港 地震からの復旧工事進む＝現場見学、水深 12m 耐震強化岸壁
- ・北海道 洋上風力セミナー開催＝道内企業参入、人材確保
- ・東京都 離島振興計画素案まとめ＝洋上風力、D X 等で魅力向上
- ・北開局 第 60 回空港技術研究会議＝空港整備の最新情報共有
- ・みなと総研 「未来のみなとづくり」＝港・海辺活動、調査研究募集
- ・国交省 「海の次世代モビリティ」＝3 月 20 日、セミナー開催
- ・経産省 原子力 S C シンポジウム＝今後の発展に国内外から期待
- ・東洋建設人事・機構改革（4 月 1 日）

■令和 5 年 3 月 6 日号（第 1825 号）

- ・港湾局・国総研 港湾技術パイロット事業＝P C ホロー桁に C F R P、リプレイザブル栈橋の適用性確認
- ・航空局 空港内の施設の維持管理＝指針改訂に向け委員会再開
- ・国交省 海外港湾物流プロジェクト＝第 13 回協議会、官民連携の取組推進
- ・5 年度新規事業 採択時評価手続き開始＝新潟港、敦賀港、那覇港、北九州空港
- ・国交省 インフラ D X 大賞発表＝港湾関係、敦賀港鞠山南など 5 件
- ・土木学会インフラメンテ授賞式＝稚内北防波堤ドーム予防保全、栈橋上部の点検診断ロボット
- ・釧路港 新処分場護岸整備を促進＝水深 14m 航路泊地浚渫も
- ・横浜港 新本牧地区水深 18m 岸壁＝鋼板セル 4 函製作築造工事

- ・北陸地整 広域バックアップ専門部会＝官民連携、代替輸送訓練など
- ・石狩湾新港管理組合 東京で「石狩湾新港説明会」＝再生可能エネルギー集積など
- ・釧路開建 厚岸漁港で築堤工事＝浚渫土の処分場整備
- ・横浜技調 第13回技術交流会開催＝DX、脱炭素など5講演
- ・鹿児島港 臨港道路橋梁上部工を5年度＝2工区に分割し30億円未満工事
- ・広島港 出島国際コンテナT＝地盤改良工事の追加手続きへ
- ・清水港 富士見水深14m岸壁改良＝取付区間の鋼矢板打設が最終へ
- ・四国地整ら 命のみなとネットワーク＝形成に向け海上輸送訓練実施
- ・広島港海岸 中央西地区江波護岸改良＝本体工、護岸基礎工など
- ・大分港海岸 津留地区護岸改良進捗＝本体工ほか上部工等4件
- ・和歌山下津港 海南地区藤白護岸改良＝第2工区施工検討業務他
- ・中国地整 無人小型船で測量高度化＝水島港玉島沖で測量実験
- ・西之表港 管内港湾施設実施設計等＝現地入りに向け最終調整
- ・唐津港 妙見地区水深7.5m岸改良＝第1バース概成に向け進捗
- ・徳山下松港 CNP検討会取りまとめ＝新たなエネルギー供給拠点港へ
- ・NEDO 水素SC構築への技術開発＝委託・助成事業者を公募
- ・清水港 農産物・食品輸出促進官民会議＝コールドチェーン試験結果等
- ・JBE Jブルークレジット購入者＝8プロジェクト、総量178t
- ・関西電力 石狩市洋上風力発電＝計画段階環境配慮書縦覧
- ・東北電力 村上・胎内市沖洋上風力＝環境配慮書縦覧開始
- ・五洋建設人事・機構改革（3月1日、4月1日）
- ・東亜建設工業人事・機構改革
- ・あおみ建設人事（4月1日）

■令和5年2月27日号（第1824号）

- ・港湾局 港湾工事CO2削減方策＝来年度に試行工事開始へ
- ・臨海部強靱化 南海トラフ地震等被害対応＝連携・協働の枠組みを議論
- ・国交省 社整審・交政審第32回技術部会開催＝DX、脱炭素化テーマに議論
- ・国交省 設計業務委託等技術者単価＝対前年度比5.4%引き上げ
- ・国交省・海事局 クルーズ・訪日観光支援＝第5回公募実施事業決定
- ・SCOPE 港湾工事積算基準講習会＝3月、全国10会場で開催
- ・港湾局人事（2月20日付）
- ・能代港 5年度に中層地盤改良工＝洋上風力発電基地の仕上に
- ・新千歳空港 滑走路の液状化対策工事＝取付誘導路の複線化事業等
- ・久慈港 湾口防波堤でWTO2件＝ケーソン築造、製作工事
- ・東扇島防災拠点 直下地震想定し管理運営訓練＝ヘリ夜間離発着も同時実施

- ・仙台技調 4年度「民間技術発表会」＝CO2排出削減技術等
- ・金沢港 防波堤（西）災害復旧＝ケーソン2函の修築工
- ・敦賀港 鞠山北地区防波堤改良＝基礎・築造工事を進捗
- ・敦賀港 自動係留設備移設工事＝新設B岸壁に移設運用
- ・苫小牧港管組 工事の脱炭素化を推進＝受注者の取組を加点評価
- ・四日市港 霞ヶ浦北ふ頭地区W81＝SCP最終床掘工が本格化
- ・名古屋港 ポートアイランド仮置工＝搬出に向け検討業務
- ・近畿地方整備局ら 大阪湾BCP推進協議会＝舞鶴港を組込み連携
- ・近畿地整ら 深日港洲本港航路の再開＝第10回協議会開催
- ・名古屋港 庄内川泊地浚渫土拌送＝PIから金城へ揚土先シフト
- ・衣浦港 外港地区国際物流T整備＝航路拡幅でケーソン撤去
- ・衣浦港 外港地区西防波堤改良＝上部工嵩上げが進展
- ・指宿港海岸 湯の浜地区離岸堤改良＝本体B製作、基礎工他3件
- ・指宿港海岸 湯の浜地区護岸改良工＝海岸保全区間を延伸
- ・三河港 神野地区防波堤北＝ケーソン据付と製作工事
- ・鉄鋼連盟 土木鋼構造研究シンポ開催＝港湾鋼構造物の防食・補修技術
- ・日建連 2022年度海洋安全表彰＝あおみ・丸尾JV石垣作業所
- ・航空局 空のカーボンニュートラル＝「ソラカボ」チャンネルで配信
- ・港湾局ら JICAアルムナイセミナー＝ASEAN・大洋州18カ国が参加
- ・KIOST 安顧問が港湾関係先訪問＝今秋、釜山で第9回WS
- ・航空局 ダッカ国際空港運営事業＝日・バングラPPP案件に
- ・岡山県 水島港東京セミナー開催＝港湾、道路網の利便性PR
- ・日本郵船 石狩湾新港洋上風力＝シーメンスへCTV備船

■令和5年2月20日号（第1823号）

- ・ブルーエコノミー組合 クレジット証書交付式＝ブルーインフラの関心高まる
- ・那覇港港湾計画改訂 浦添ふ頭にROROバース等＝クルーズや内貿機能も強化へ
- ・政府 GX基本方針を閣議決定＝原子力推進、GX経済移行債
- ・GI基金 大規模水素SC構築＝企業代表が取組状況説明
- ・土木学会 インフラメンテナンス賞＝稚内港北防波堤ドーム等
- ・東京湾口航路 中ノ瀬航路の浅瀬浚渫計画＝第二海堡護岸工は最終段階
- ・北海道局 「苫東GX HUB構想」＝再エネ・水素・CCUSで産業誘致
- ・仙台塩釜港 水深12m耐震強化岸壁＝仙台技調が基礎調査業務
- ・石狩湾新港 取扱貨物量・入港船舶＝令和4年速報値
- ・横浜市港湾局 令和5年度予算案＝新本牧ふ頭、本牧D5等
- ・川崎市 令和5年度予算案＝CT整備、電気推進船新造等

・工事入札結果（令和4年11月契約分）

- ・大阪港 新島東側の主航路増深へ＝5年度に排砂管敷設部を浚渫
- ・福山港 箕島水深12m岸壁整備＝地盤改良工の手続き開始
- ・姫路港 広畑地区国際物流ターミナル＝第2バース整備が本格化
- ・長崎空港 R E S A用地造成工事＝I期区間概成向け進捗
- ・佐世保港 前畑地区水深10m岸壁＝5年度完了に向け進捗
- ・博多港 箱崎ふ頭航路泊地＝W T Oで浚渫工事手続
- ・志布志港 新若浜地区バルクバース＝ケーソン製作など進捗
- ・水島港 水島玉島航路水深12m＝増進完了に向け浚渫工事
- ・高松港 朝日地区水深7.5m岸壁＝実施設計の手続き
- ・鳥取港 千代地区第1防波堤＝西側延伸ケーソン製作
- ・りんかい日産・寄神 テーパー杭、N E T I S登録＝コスト縮減・C O 2削減、洋上風力、港湾工事に適用

- ・北陸地整 大規模災害想定 of 広域 B C P＝支援船の受入方策等を議論
- ・和歌山県 「命のみなとNW」推進協議会＝孤立集落を想定し連携検討
- ・J A M S T E Cら 異機種A U Vで隊列制御＝高効率海底調査技術を実証
- ・鹿児島港 中長期ビジョン勉強会＝耐震強化岸壁計画等
- ・女川町 出島架橋上部工組立開始＝来年12月供用へ作業中
- ・大阪市 大阪港C N P形成計画案＝港湾・産業立地競争力向上へ
- ・堺泉北・阪南港＝C N P形成計画案
- ・ウエンティ・ジャパン 入善洋上風力、9月稼働へ＝清水S E P船「B L U E W I N D」
- ・東京ガスら 福島沖浮体式洋上風力＝方法書の縦覧開始
- ・銚子市 ゼロカーボンビジョン＝洋上風力との連携など
- ・東京都 沖ノ鳥島・南鳥島周辺＝調査研究提案を募集

■令和5年2月13日号（第1822号）

- ・港湾局 新しい国際コンテナ戦略港＝基幹航路の拡充、強靱化議論
- ・港湾局 港湾・空港工事のあり方＝3月に最終報告まとめに
- ・港湾局 次世代内航船ターミナル＝トラックの24問題解決の切札
- ・港湾局 C N P形成検討会開催＝3月に脱炭素化マニュアルへ
- ・国土交通省 港湾空港のリサイクル材＝ガイドラインに数種類追加予定
- ・洋上風力 E E Z展開時の課題＝検討会が取りまとめ公表
- ・海事局 造船業のD Xを支援＝二次補正で2事業を加速化
- ・船川港 洋上風力補完機能を視野＝長期構想第1回委、来年度に港計改訂準備
- ・苫小牧港 浜厚真複合一貫輸送T＝整備事業着工式典を開催
- ・東京都港湾局 第99回港湾審議会開催＝5年度に次期改訂港計策定へ

- ・小名浜港 東京で利用促進セミナー＝2024年問題での地方港の役割
- ・仙台塩釜港 石巻港区防波堤南＝最終のケーソン製作工事
- ・相馬港 防波堤の強化へ改良工＝ケーソン4函分対象
- ・敦賀港 鞠山北地区防波堤改良＝基礎・築造工事を進捗
- ・伏木富山港 新湊地区防波堤（波除）＝改良築造工事の手續
- ・名古屋港 飛島ふ頭東の再編改良事業＝R2バース初弾工事手続き
- ・大阪港 港湾審議会で軽易変更＝水素専用埠頭の整備等
- ・下関港海岸 山陽地区護岸改良工事＝WTOで宮崎水門ほか3件
- ・高知港 浦戸湾湾口の津波防波堤＝地方港湾審議会で計画了承
- ・高知港海岸 浦戸湾地区タナスカ工区＝護岸改良工事（その2）
- ・広島港海岸 中央西地区吉島地区＝直立消波嵩上工等
- ・水島港 航路マイナス12m付帯施設＝浚渫土砂仮置き場整備
- ・厳原港 防波堤北改良工事＝基礎、被覆工ほか2件
- ・唐津港 東港地区複合一貫輸送T＝泊地航路水深9m増進
- ・唐津港 妙見地区岸壁7.5m改良＝第1B対応3次工事
- ・唐津港 中長期ビジョン検討会＝船舶大型化へ新規岸壁確保等
- ・国総研・港空研・日建連 海洋開発技術で意見交換＝洋上風力発電、CNP等
- ・博多港 東京で振興セミナー開催＝高島市長が利用促進を呼掛け
- ・MOPA 室蘭洋上風力フォーラム＝漁業含め地域一体の取組大事
- ・阪神港 大阪でセミナー開催＝環境負荷と働き方改革
- ・苫小牧港CNP形成計画案＝管理組合、次世代エネの供給・備蓄拠点
- ・福岡市ら 博多港CNP計画原案＝2月議会で報告し策定準備
- ・東北みなとオアシスネットワーク会議＝WEBで4年度総会開催
- ・神戸市 神戸港CNP協議会＝今月、形成計画公表へ
- ・兵庫県 姫路港と豪ビルバラ港＝水素連携でMOU締結
- ・堺泉北港 堺青果センター輸出環境強化＝エアージェルター整備
- ・丸紅ら 秋田港でも運転開始＝日本初大型商用洋上風力

■令和5年2月6日号（第1821号）

- ・自民党港湾議連 5年度予算の早期成立を＝産業を支える基盤インフラ
- ・自民党港湾議連総会＝全国10市町が整備振興要望
- ・洋上風力 センtral方式の運用指針＝JOGMEC調査等、骨子案示す
- ・港湾関係5団体 新春賀詞交換会開催＝関係者一同に会し祝福
- ・港湾局 訪日クルーズ旅客数（2022年速報値）＝寄港回数は前年比7割増
- ・新潟港 北陸の洋上風力基地機能へ＝新年度に整備着手の見通し
- ・酒田港 北港地区第二北防波堤＝築造、製作工事を手続き中

- ・両津港 南ふ頭再編整備事業＝岸壁背後の地盤改良工
- ・伏木富山港 伏木地区防波堤北＝浮体施設築造工事
- ・千葉港 葛南中央地区付帯施設＝防泥柵老朽化対策工事
- ・北九州港 響灘の洋上風力基地港湾＝地盤改良工事2件を追加
- ・熊本港 岸壁の耐震化や大型船対応＝地港審開催し埠頭計画変更
- ・細島港 水深9mRORO岸壁＝ケーソン製作工の手続き
- ・津松阪港 阿漕浦・御殿場工区＝最終整備区間の手続き
- ・徳島県 津田地区で公有水面埋立出願＝工場向け分譲や緑地
- ・JOPCA 日本のインフラ協力のあり方＝第12回オンラインセミナー開催
- ・東亜建設工業 栈橋調査用の軽量足場開発＝設置・撤去作業を大幅短縮
- ・五洋建設 サウンディングAI開発＝高精度に地盤強度を測定
- ・広島港セミナー開催＝振興協会、物流・人流・港湾機能強化
- ・新潟県 両津港・小木港CNP＝第1回形成協議会開催
- ・唐津港 中長期ビジョン検討会＝船舶大型化への岸壁確保等
- ・山形県 酒田沿岸域検討部会開催＝洋上風力想定区域案示す
- ・JOGMEC 令和5年度の調査概要＝個別仕様作成へ意見募集
- ・JERA 男鹿・潟上・秋田市沖＝アセス配慮書縦覧
- ・室蘭港150周年記念広告「ものづくり・にぎわい・エネルギーを創り出す港へ」

■令和5年1月30日号（第1820号）

- ・国交省港湾局 第87回港湾分科会開催＝港湾法改正、横浜港一部変更等
- ・ブルーカーボン 全国993港のCO2吸収量は検討会開催、今年度末に速報値報告
- ・港湾局 JAXAと協定締結＝衛星画像で被災状況把握
- ・日本港湾協会 ポート・オブ・ザ・イヤー2022＝秋田港が受賞、表彰式開催
- ・国交省 海外インフラプロジェクト技術者＝2月上旬までに認定証発行
- ・那覇港 3月に港湾計画改訂へ＝ROROの受入れ強化等
- ・Cyber Port WEBセミナー開催（2/28、3/9）＝NACCSとの直接連携
- ・鹿島港 洋上風力基地港地盤改良追加＝5年度完了に向け仕上げ工事
- ・苫小牧港東港 周文ふ頭複合一貫輸送ターミナル＝水深9m岸壁（耐震）整備へ
- ・千葉港 千葉中央水深9m岸壁＝補正予算で岸壁築造工事
- ・横浜港 新本牧地区国際海上CT＝WTOで地盤改良工事
- ・小名浜港 第二沖防波堤の延伸＝補正予算でケーソン2函
- ・八戸港 航路泊地（埋没）付帯施設＝Ⅱ期工区ブロック製作工
- ・東京都港湾局 オンライン見学会開催＝新海面処分場護岸工事
- ・神戸港 航路付帯施設整備が進捗＝本體工等築造工事の手続き
- ・那覇港 浦添第一防波堤整備促進＝ハネ接続部のケーソン製作

- ・長崎空港 RESA用地造成工事＝5年度にWTO工事
- ・長崎港 女神地区護岸撤去工事＝航路水深12m幅員確保
- ・平良港 次期港湾改訂計画作業中＝11月の港湾分科会を予定
- ・石垣港 港湾長期構想案まとめ＝大型RORO船対応等
- ・高知港海岸 湾口地区堤防改良工事＝4年補正予算を適用
- ・和歌山下津港海岸 日方水門操作室新築＝供用開始に向け進捗
- ・和歌山下津港海岸 海南地区鳥居水門築造＝第1四半期発注見通し
- ・広島港・福山港 CNP形成準備会開催＝5年度に形成計画策定
- ・東京都港湾局 東京港CNP計画案を公表＝グリーン物流、水素への転換等
- ・八木港命のみなどNW 釜石港湾事務所・洋野町＝「こはく」「種市丸」で輸送訓練
- ・川崎港CNコンビナート ネットゼロ移行＝世界的プロジェクト参画
- ・JWPA 2022年末導入量速報＝前年度1.6倍、洋上風力135MW
- ・名古屋港 CNP形成協議会を開催＝3月に形成計画案策定へ
- ・沖縄クルーズ 4月から2025年分受付＝県内4港一括優先予約
- ・下関港 クルーズシンボ開催(2/17)＝コロナ禍を経た動向
- ・海と産業革新「うみこん2023」＝横浜市ら、2月21日開催
- ・名古屋技調 第25回民間技術交流会＝2月21日開催、聴講者募集中
- ・2次補正 全国の港別予算内訳①＝港湾・海岸整備事業

■令和5年1月23日号(第1819号)

- ・国交省港湾局 重要港湾管理者等主幹課長会議開催＝重点施策の方針等を説明
- ・港湾工事 PCa工法導入マニュアル＝VfM評価等、来年度試行工事
- ・洋上風力 セントラル方式で初調査＝JOGMEC、岩宇・南後志など3区域
- ・羽田D滑走路維持管理システム インフラメンテ大賞特別賞受賞＝田中航空局技術審議官に報告
- ・港湾局人事(1月13日付)
- ・能代港 洋上風力基地、5年度受入れ整う＝水深10m岸壁確保へ泊地浚渫
- ・久慈港 WTOでケーソン据付、製作＝今後に向けた基礎捨石工事も
- ・東京港 5年度にY3バース着手＝第1四半期に30～50億円
- ・秋田港 第二南防波堤整備を促進＝据付1函、製作2函予定
- ・新潟港 西港地区土砂処分場＝ケーソン2函他築造工事
- ・工事入札結果(令和4年11月契約分)
- ・名古屋港 中空沖新土砂処分場整備＝護岸築造へ捨石工等を促進
- ・北九州空港 エプロン新設外工事＝貨物専用2機駐機に対応
- ・関門航路 大瀬戸～早鞆瀬戸地区＝航路水深14m浚渫工事
- ・大分空港 護岸越波対策工事ほか＝空港施設の強靱化進む

- ・大分港海岸 津留地区護岸改良＝2件の上部工工事
- ・大分港 大在西水深9m岸壁＝ケーソン製作工事2件
- ・津松阪港 海岸保全施設整備事業＝栗真工区堤防改良工事
- ・博多港 箱崎ふ頭水深12m岸壁＝改良工事2件手続き
- ・博多港 箱崎ふ頭地区航路泊地＝水深12m浚渫工事手続き
- ・徳山下松港 第6回CNP検討会開催＝推進協議会設立へ意見交換
- ・兵庫県 播磨臨海地域CNP 第3回協議会を開催
- ・インフラメンテ大賞 大林組が港湾分野で大臣賞＝羽田D滑走路維持が特別賞
- ・東洋建設 海上工事デジタルツインシステム＝名港新土砂処分場で実用化
- ・東洋建設 美浦研究所で体験学習＝親子9名が参加し実験等
- ・4年度2次補正 全国の港湾別予算内訳④＝総額987億円で事業推進
- ・経産省 水素・アンモニア合同会議＝中間整理、SC構築、インフラ整備を支援
- ・JFEエンジ CO2輸送実証施設建設＝JCCSのCCUS事業
- ・日鉄エンジ 独ウインドテックと協業＝洋上風力O&M事業開始
- ・日鉄エンジ 深田サルベージと協業＝洋上風力O&M事業強化
- ・JERA 男鹿・潟上・秋田市沖洋上風力発電事業＝計画段階環境配慮書縦覧
- ・住友商事 村上・胎内沖洋上風力＝アセス方法書を縦覧
- ・浜松市沖洋上風力 配慮書に環境大臣意見
- ・IEA Wind 2月28日、セミナー開催＝最先端の研究成果発表
- ・東亜建設工業人事（1月1日）

■令和5年1月16日号（第1818号）

- ・国交省港湾局 「ブルーインフラ」拡大＝生物共生型護岸の標準化など
- ・防災部会 臨海部の強靱化のあり方＝気候変動やCNなど対応
- ・斉藤国土交通大臣 記者会共同新春インタビュー＝DX、GX、CNPを推進
- ・港湾局 みなとSDGsパートナー＝第2回75者を登録
- ・港湾局 4港でサイバーポート実証＝入出港手続きの見える化
- ・内閣官房 5年度国土強靱化予算＝公共事業関係費3.9兆円
- ・うみそら研 次期中長期目標を議論＝審議会、今年2月に策定
- ・久慈港 長期構想づくりへ議論開始＝洋上風力基地港の位置付け等
- ・久慈市沖浮体式洋上風力＝立地可能性に向け検討調査
- ・仙台塩釜港 向洋地区ふ頭再編改良＝2号、3号の連続バースに
- ・伏木富山港 伏木地区防波堤北＝築造工事他2件手続き
- ・福岡空港 CPG地盤改良2件を予定＝N工区の土工、舗装も実施
- ・九州地整 鹿児島港利活用を検討＝年度内にビジョンまとめ
- ・九州地整 芦北町「命のみなとNW」＝九州エリアで初の協議会

- ・久保田雅晴国土交通省航空局長 年頭の辞
- ・高橋一郎国土交通省海事局長 年頭の辞
- ・航空局 5年度予算3942億円＝羽田空港に543億円（13%増）
- ・北九州空港 3km滑走路アセス手続き＝評価書案、今後環境大臣意見
- ・九州地整 響灘洋上風力基地港情報公表＝西海市江島沖の問い合わせにも対応
- ・大阪港湾局 みなとセミナー開催＝大阪・堺泉北港等利用呼び掛け
- ・沿岸センター 4年度上期民間技術評価事業＝五洋建設・日本ピーエス、組立式PC橋工法など
- ・沿岸センターら 日韓沿岸技術研究WS＝港湾の環境等級評価等発表
- ・企業トップの年頭所感＝五洋建設、東亜建設工業、東洋建設、若築建設
- ・経産省エネ特会 5年度当初・補正計9200億円＝脱炭素・GX・イノベーション等
- ・清水琢三日本埋立浚渫協会会長 年頭所感
- ・高橋海事局長 定例会見で内容説明＝5年度海事局関連施策
- ・海洋政策 参与会議の意見書公表＝次期基計策定の指針
- ・八代港 中長期ビジョン検討会＝第2回会合を開催
- ・広島技調 第1回民間技術説明会＝2月7日WEB開催

■令和5年1月2日・9日合併号（第1817号）

【令和5年新年特集】

- ・斉藤国土交通大臣 新春のご挨拶
- ・堀田港湾局長 年頭所感
- ・5年度予算案 港湾関係2638億円を確保＝国際戦略港湾競争力強化に重点
- ・国土交通省 行政ニーズ対応ドローン＝性能規定化に向け活発議論
- ・港湾局 4港でサイバーポート実証＝入出港手続きの見える化等
- ・関東地整 「アマモメッセンジャー」＝サンタ姿で小学生出迎え
- ・港湾局 安心安全なクルーズ再開＝各種支援事業を公募
- ・5年度新規事業 戦略港湾CT一体利用検証等＝生産性向上・競争力強化
- ・5年度港湾関係税制改正 荷さばき施設、作業船買換等＝特例措置を延長
- ・港コン協 4年度要望活動を終了＝働き方改革や若手技術者確保
- ・港コン協 九州地整と意見交換＝副局長に要望書提出
- ・東亜・若築ら パティンバン港第二期＝大型港湾工事を受注
- ・港空研ら 猿島プロジェクト見学会＝観光船でブルーカーボン調査
- ・JBE Jブルークレジット認証＝18プロジェクトを新規登録
- ・八戸港 CNP形成協議会開催＝年末の形成に向け初会合
- ・志布志港 脱炭素化推進協議会＝CNP形成に向け初会合
- ・広島港セミナー開催（1月25日）＝会場とWEB配信

・東亜建設工業人事（1月1日）